

環境

⑰ クリニクルセンターの  
運営管理・中間改修

事業費

8億714万  
2千円

▶問い合わせ 環境対策グループ  
(クリニクルセンター内・☎⑤2958)

登別市内と白老町内から排出されたごみを処理するため、2000（平成12）年度から稼働しているクリニクルセンターの運営・維持管理などを行っています。

現施設は、2029（平成41）年度まで使用することができるよう

2010（平成22）年度から、延命化のために毎年度改修工事を行っており、将来の廃棄物処理施設のあり方について、再延命化や更新時期などの今後の具体的な検討を進めています。



▲老朽化した焼却処理施設や破碎・資源化処理施設の設備などを更新しながら、運営をしているクリニクルセンター

商業

⑯ 創業支援事業

事業費

917万  
5千円

▶問い合わせ 商工労政グループ  
(☎⑤2171)

市内の空き店舗を活用して新たに事業を行う方に対し、空き店舗の賃借料の一部を補助する『空き店舗活用事業補助金』や市内で新たな事業所を開設して事業を行う方に対し、開設に必要な建物の改装などにかかる経費の一部を補助する『事業所開設費補助金』を交付しています。

また、平成29年10月から11月にかけて、創業を考えている方や創業して5年未満の方を対象に、創業に必要な知識の習得を目指す、『創業塾』を登別商工会議所と連携して開催しました。



▲創業に関する知識を習得するため、創業塾に参加して講義を受ける参加者

- ▶平成29年12月末現在の実績
- 空き店舗活用事業補助金の交付… 3件
  - 事業所開設費補助金の交付… 3件
  - 創業塾の受講者数… 18人

移住

⑱ 登別市への移住・定住の促進

事業費

203万  
8千円

▶問い合わせ 企画調整グループ (☎⑤1122)

登別市への移住を検討している方の不安や疑問にお答えし、移住の検討に役立つ不動産や医療機関などの情報提供を行う『移住ワンストップ窓口』を設置し、当市での生活を体験してみたいと思う方には、移住体験住宅の紹介や手配を行っています。

さらに、移住体験『ちょっと暮らし』では、まちの魅力や生活のしやすさを実感していただけるよう体験移住者の要望に応じた体験ツアーを実施し、まちの案内をしています。

今年度は、都市圏の居住者に当市の魅力を紹介するため、完全移住を考える方が主に参加する『本気の移住フェア』（東京会場）に参加したほか、移住体験を考える方が主に参加する『北海道暮らしフェア』（名古屋会場）に参加し、多くの方に当市の生活のしやすさなどを紹介し、当市への移住を促しました。

また、このまちでの仕事の情報や北海道の中でも雪が少なく住みやすい環境について、さらに情報発信を行うため、札幌圏でのフリーペーパーを活用するとともに、移住ポータルサイトの情報を拡充します。



▲北海道への移住を考えている方に、登別市の魅力を紹介する『北海道暮らしフェア』

このほか、市公式ウェブサイトにも、市が行っている事業の目的や内容などを掲載しています。

詳しく知りたい事業などがありましたら、企画調整グループへお問い合わせください。

▶問い合わせ 企画調整グループ  
(☎⑤6586)



URL:<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2017070300020/>



ほかにも、ぼくたちの暮らしに関わる仕事がたくさんあるんだよ